

会 議 録

会議名称	第6期幸区区民会議 第1回専門部会（B部会）
日 時	平成28年10月5日（水） 18：30～19：50
会 場	幸区役所 4階第4会議室
出席者	●区民会議委員（50音順） 阿部稔子委員、板橋洋一委員、伊藤善通委員、神谷修委員、高橋希委員、 中原敏子委員、成川慎一委員(全体会議委員長)、松井節子委員(全体会議副委員長) ●事務局 幸区役所田村副区長 幸区役所まちづくり推進部企画課 岸課長、吉岡課長補佐、佐藤係長、安藤職員、 (株)社会空間研究所 中島氏、田上氏
欠席者	なし
傍聴者	なし
配布資料	●議事次第 ●資料1 審議テーマ候補案に関する現状の取りまとめについて ●資料1－別紙 事例紹介（抜粋） ●資料2 審議テーマを選定するにあたっての考え方について ●資料3 「第6期幸区区民会議」スケジュールについて ●参考資料1 第6期幸区区民会議審議テーマに関する委員からの意見（分類別） ●参考資料2 これまでの幸区区民会議の提案と取組
議 題	1 正副部会長の選出について 2 審議テーマの選定について 3 部会名について 4 今後のスケジュールについて
決定事項	1 正副部会長の選出について ・神谷委員を部会長、阿部委員を副部会長とすることとなった。 2 審議テーマの選定について ・資料1に示す「地域の魅力発信」を選定した。 ・審議対象は、「地域コミュニティの活性化」や「総合的な子ども支援」も意識した、幅広い事項について検討していくことを確認した。 3 部会名について ・地域の魅力発信を軸として、次回専門部会までに各委員が部会名の案を考え、事務局宛に連絡をし、次回専門部会で正式決定することとした。 4 今後のスケジュールについて ・資料3により今後のスケジュールを確認・共有した。

会議の内容 及び 主な発言	1 正副部会長の選出について ○委員の推薦、本人の承諾を経て、神谷委員を部会長、阿部委員を副部会長とすることで決定した。 2 審議テーマの選定について ●事務局より資料１・２について説明した。 ○資料１に整理した３つの審議テーマ分野のうち、委員の意見多数により、「地域の魅力発信」を審議テーマとすることとした。 ○なお、分野を絞ることは不要といった趣旨の意見が出されたことを受け、発信すべき魅力（具体的な審議対象）については細かく絞るのではなく、幅広い分野・事項について検討していくこととした。 【主な意見】 ・地域の魅力発信に的を絞って進めてはどうかと思う。ただし、資料２で示す４つの要件を考慮すると何ができるのかが気になるところである。 ・愛知県瀬戸市でシャッター街を大学生らが維持・活性化している例がある。これらを参考に、区内の空き地、空き店舗等を地域のホットステーションなどとして活用できれば良いと思う。 ・子どもの支援なども魅力発信とつながってくると思う。いずれのテーマも根本では繋がっており、また総合的に改善してこそその魅力及び魅力発信となるのではないか。 ・重要なことは様々な地域の魅力を発信していくということであり、「どの分野を発信」と限定して考えることではないのではないか。大きなテーマとしては魅力発信として、その中身については今絞る必要はないだろう。 ・また、魅力発信の目的や「何が魅力なのか」を適切に検討しなくては、単にPRをただけで終わってしまうのではないか。 ・例えば夢見ヶ崎などは重要な地域資源であるが、単に「夢見ヶ崎が魅力」で終わるのではなく、「夢見ヶ崎のどの要素がどのような魅力に繋がっているのか」をブレイクダウンして検討することが重要である。 ・地域の魅力発信がテーマの核でいいとは思いますが、その魅力とは何か。ホットステーションや「最幸のまち」などキーワードがいくつかあるので、それらを考えていけば自ずと魅力が見えてくるのではないか。
------------------------------	--

3 部会名について

○審議内容については多岐にわたっても良いが、部会名はテーマに沿って絞ることとし、「地域の魅力発信」を軸として検討することとした。

⇒「幸」という発信しやすい区名であることや、市の掲げる「最幸のまち」との親和性から、例えば副題として「最幸のまちを目指して」を付すなどのアイデアが挙げられた。

○次回専門部会までに各委員に部会名を考えてもらい、事務局宛に案を伝えたいうえで、次回専門部会で正式決定することとした。

4 今後のスケジュールについて

●事務局より資料3について説明した。

○今後のスケジュールについて確認・共有した。

○本会議を以って両部会の正副部会長が決まったことから、第1回企画運営会議の日程については、関係者内で近日中に調整を確認した。

以上